

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 「あいち消防団応援の店」ウェブサイトの再構築

自治体名

愛知県

消防団名

—

1 事業の目的

消防団員の福利厚生にあたる「あいち消防団応援の店」制度を再構築し、消防団員及びその家族並びに協力事業所の利便性向上を図る。

これにより、制度利用者全体の満足度を向上させ、本県市町村の消防団に加入することへのメリットを強化することで、県内の消防団員数の増加を促す。

2 事業内容

①「あいち消防団応援の店」利用カードの電子化

現在運用している「あいち消防団応援の店」ウェブサイトにて、ログイン画面を設け、ウェブ上に利用カードを表示する。

②利用された店舗の概数把握

どのページを何回閲覧したかログ追跡することができる仕組みを導入し、利用された店舗の概数を把握できるようにする。

③「あいち消防団応援の店」協力事業所の登録の電子化

現在運用している専用ウェブサイトにて、協力事業所の申請画面を設け、ウェブサイト上で申請することができるようにする。

④県内全域への「あいち消防団応援の店」制度の再周知

県内大学の学食トレイを用いた若者への周知等を行うことで、制度自体の再周知を行い、協力事業所数の増加及び消防団員数の増加を図る。

3 事業成果

利用カードの電子化では、LINEとのログイン連携を行うことにより、パスワード忘れを未然に防ぎ、毎度IDやパスワードを入力する煩雑さを軽減できることが期待できる。

また、どのページを何回閲覧したかログ追跡することができる仕組みの導入により、利用された店舗の概数を把握できるようにしたうえ、電子カード利用時に利用店舗名を記入する仕組みを追加したことから、ニーズの調査等、今後より良い仕組みにするための情報を収集できる。

さらに、新規協力事業所の登録の電子化を行ったことにより、申請作業が容易になり、利便性の向上させ、登録店舗の増加が期待できる。

近年若者の消防団員数が増えていることもあり、県内大学の学食トレイを用いた若者への周知は、視認性が高く、食事の時間に落ち着いて媒体を認識してもらえるため、消防団応援の店制度の周知及び消防団の認知向上に寄与したと考えられる。

今回の取組では、様々な電子化を行い、時代の流れに則した改修を行ったことで、サイト利用者の利便性を向上させることができ、結果、消防団員数の増加に寄与すると考えられるため、とても有意義であったと考える。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値
利用カード電子化によるログイン連携	社	1社以上	1社(LINE)
事業のPR(学食トレイ)	大学	3校	4校(5キャンパス)

5 その他参考情報

あいち消防団応援の店検索サイト

<https://shobodan.pref.aichi.jp/ouen-shop/>

あいち消防団応援の店 登録申請フォーム

あいち消防団応援の店 登録申請フォームになります。★のついた項目については、HP等に掲載しますので御承ください。

今すぐ開始

